



THE SERVICE CLUB FOR THE YMCAs CHARTERED IN 2010

長野ワイズメンズクラブ 会報

2016年
7月 第68号

THE Y'S MEN'S CLUB OF NAGANO



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

2016~2017 年度主題

- 国際会長 Joan Wilson (カナダ) "Our Future Begins Today." 「私たちの未来は、今日より始まる」
 アジア会長 Tung Ming Hsiao (台湾) "Respect Y's Movement" 「ワイズ運動を尊重しよう」
 東日本区理事 利根川 恵子 (川越クラブ) 「明日に向かって、今日動こう」
 あずさ部部长 浅羽 俊一郎 (東京山手クラブ) 「あずさ部は賜物の宝庫。もっと活かそうぜ！」
 クラブ会長 森本俊子 「長野クラブオリジナルの活動を膨らませよう」



今月の聖句 (偶数月) 仏句 (奇数月)

あなたが何をしても、世間はあなたを避難します。だから気にしない。 「ダンマパダ 227-228」
 「沈黙する者も非難され、多く語る者も非難され、少ししか語らぬ者も非難される。世に非難されない者はいない。
 ただ、非難のみされる人も、ただ賞賛のみされる人も、過去にもいなかったし、未来にもいないであろう。現在にもいない。」

7月 例会案内

日時 2016年7月20日 (水)

会場 レストラン「やま茶屋」

PM6:30~8:30

1. 開会点鐘 会長 森本俊子
2. ワイズソング・ワイズの信条
3. 会長あいさつ 森本俊子会長
4. ビジター・ゲスト紹介
ビジター:
5. 報告など
6. ワイズディナー
7. 卓話「新あずさ部長として」浅羽俊一郎部長
8. 自由トーク
9. ニコニコタイム

「長野クラブ独自の活動を！」会長 森本俊子

東日本区大会を無事に終了できたのは、長野クラブ員の一人一人の持ち味が十分に発揮できたお陰です。なんだか浅羽新部長の主題を先取りした感があります。活かそうぜ、賜物 (タレントということですね!)

改めて見直した長野クラブメンバーの「タレント」。今期はクラブ独自の活動を膨らませてみよう。そう思ってスタートいたしました。よろしく願いいたします。

栄村とのつながりを大切にしよう。ということで、今期は栄村の物販も継続するほか、村での例会もたびたび開きます。夏にも納涼の会を、秋には収穫の会を、冬には雪投げ合戦を熊うち合戦としてゲーム大会を企画してみよう。 (裏面に続く)

クラブ会費の振込をお願いします

ワイズ会費を払うことが、ワイズ活動のボランティア参加に直結しています。今年度会費 (7~12~6月分) がまだの方、18,000円×2のお振り込みをお早めをお願いします。(手数料は各自負担にて) (会計 倉石美津子)

八十二銀行 昭和通営業部(店番号 214)

普通預金 口座番号 871118

長野ワイズメンズクラブ会計 倉石美津子

今月は 該当者なしです



7月データ

在籍会員	13名	例会出席率	%
例会出席者	8名	(メイキャップ・メネット含む)	
ビジター	3名	BF切手 1年間	0g
ゲスト	名	累計	0g
合計	11名	プルタブ 1年間	kg
		累計	0g

会長	森本俊子
副会長	福島貴和
書記	小林美彦
会計	倉石美津子
監査	塩入 隆
CS	丁 胤植
Yサービス	湯田勝彦
ブリテン	小林美彦
担当主事	露木淳司
庶務	水崎よし子

例会のご案内

とき	毎月第3水曜日 18:30~20:30
ところ	レストラン「やま」
連絡先	会長または書記へ tokoton921@gmail.com(会長) f69a9n@bma.biglobe.ne.jp(書記)

と、あずさ部や他のクラブの方はもちろん、つながり始めたほかの団体の方にも声をかけて栄村に関心を集めたいと思います。須坂の「もえぎ舎」の方たちをはじめ障がい者と共同できることはやってみよう。ロールバックマラリアの活動を知ってもらうために、使用済み切手を集めよう。ストップエイズに繋がる活動も続けよう。ブルタブもまじめに集めよう。メンバーのかかわるボランティア活動にも協働してみよう。などなど・・・。

こう書いてみると、改めて書き出すことも無いように思われますが、そうではありません。これらのことを今期もみんなで作ってみるのが、長野らしい活動になるのです。

そして、大会の協働でご縁のできた他クラブの活動にももう一歩協力してみたいと私は思っております。どうぞ皆さんのお考えを聞かせてください。

○あずさ部評議会報告

7月16日、なないろ評議会が東京中野サンプラザで開かれ福島副会長と二人出席してきました。出席は議決権者50名中36名でしたが、総出席者は65名でてきばきと議事が進められました。長野大会に来てくださった方がほとんどでしたので、楽しかったとのお言葉をいただき、とてもうれしく思いました。

ホストは東京武蔵野多摩クラブで、受付や議事進行など含めて、東日本区大会のことを思い出しました。ワイズメンズクラブ方式は、定着していて、粛々と会議は進められました。次号報告、収支決算、各クラブからの報告につきましては部報を1、2号と長野クラブ員全員ようにいただいてきましたので、そちらをお読みください。 ○東京西ワイズメンズクラブ 40周年記念祝会

評議会と同じ中野サンプラザで開かれた記念祝会には在京ワイズはもちろん熊本のワイズも駆けつけ、お祝いの言葉とともに、今もって地震や土砂災害に苦しむ熊本の人々の現況と、YMCAやワイズの連係プレイによる支援の様子が報告され募金が行われました。暑さに苦しむ被災者やボランティアのためにより一層の支援が必要だと改めて感じました。

また、東京西クラブが支援しているYMCAホテル学校の研修生たちが紹介され、着実に人材が育っていることを知りました。

記念公演は、元ラグビー選手で今は人材育成コンサルタントとして活動を行っておられる今泉清氏が、「ラグビーのリーダーシップ、チームワーク、ポジティブ思考」と題してお話してくださいました。ティーチとコーチは違うという言葉にははっとさせられました。選手が一人ひとり夢をもって、そこに向かって精進していく姿、今何が問題かと本人が認識しつつ一段一段問題点をクリアしていくというコーチの姿勢。南アフリカ戦における日本選手の夢の実現の実例をあげて、勇気と元気を与えてくれました。パーティーでは、母親の介護を20年の間続けられたピアニスト武藤聡子さんの慈愛に満ちたピアノ演奏などもあり、さすが40周年を迎えたクラブらしい総力を挙げての祝会と心を温められるひと時でした。

□福島さんの関わる「聖地の子ども達と日本の青年の交流」という企画が8月11日長野市ふれあい福祉センターで行われます。ご協力を、お願いします。いつもの納涼例会に換えて、8月、東日本区大会のご苦労さん会もかねて夏の栄村へ行こうという提案が出てます。詳細は後日連絡します。皆さん参加してください。